NECライティング株式会社

東京都港区芝1-7-17
〒105-0014 http://www.nelt.co.jp/

<お客様相談室>
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間 平日9:00～12:00 13:00～18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 03-6746-1521

※この紙は再生紙を使用しています

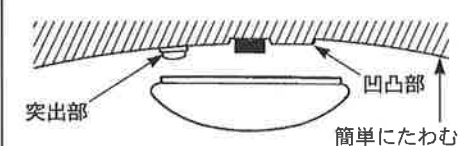
NEC 照明器具 取扱説明書

保証書添付 | 保 存 用

●このたびはNEC照明器具をお買い上げくださいましてありがとうございます。
●取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。
●取付工事が終わりましたら、この説明書は、ご使用になるお客様が保管してください。

取り付けできない天井

火災・感電・落下によるけがの原因となります。

突出部 凹凸部 簡単にたわむ

突出部のある天井・凹凸のある天井・簡単にたわむ弱い天井

変形天井・ななめ天井

サオブチ天井 格子天井

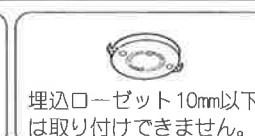
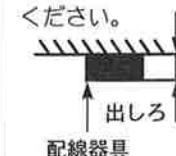
下図の場合は、電気工事店か販売店にご相談ください。

配線だけのもの　破損しているもの　電源端子露出タイプ　ガタつくもの　ケースウェイに取り付いている

次の配線器具は、出しろを確認してください。

出しろ
配線器具

角型、丸型引掛シーリング21mm以下は取り付けできません。

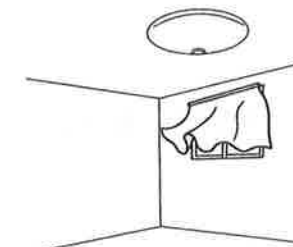
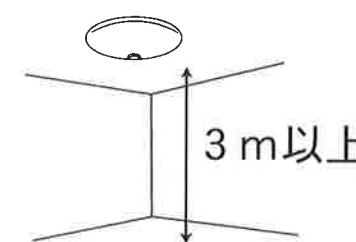
埋込ローゼット10mm以下は取り付けできません。

電気工事は電気工事士の資格が必要です。
工事は必ず電気工事店に依頼してください。

引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。器具が落下する恐れがあります。

取り付けできない場所

センサーは温度変化を感知しますので次のような場所には取付けないでください。誤動作の原因となります。

温度変化の激しい場所

カーテンなどのゆれるものが近くにある場所

取付の高さが3m以上になる場所

センサー部に蒸気があたる場所

取付上のご注意

壁付調光器のある回路では使用しないでください。

注意

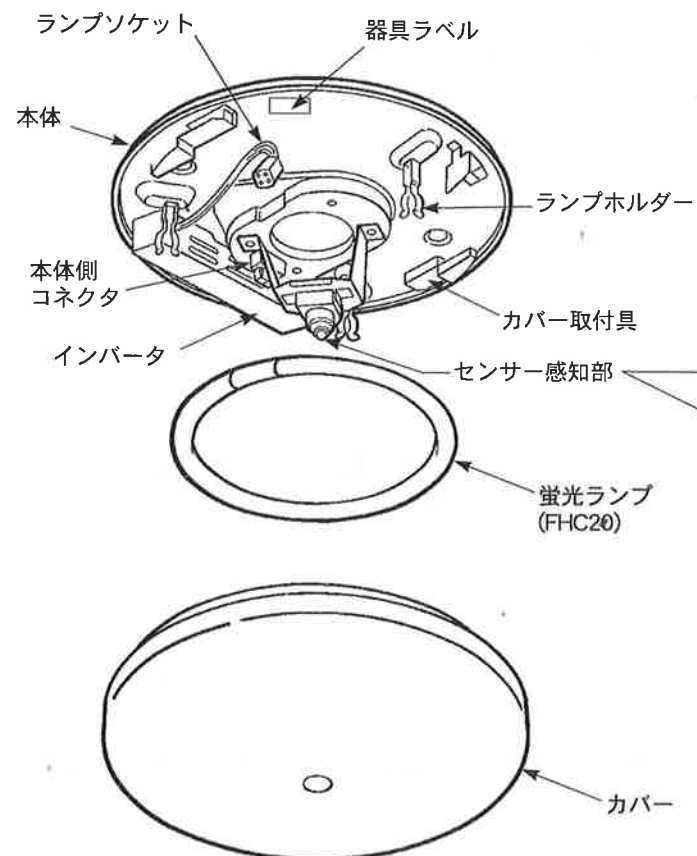
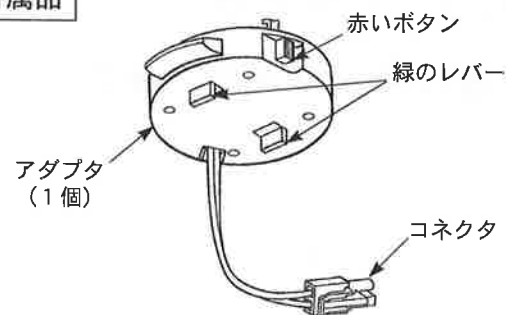
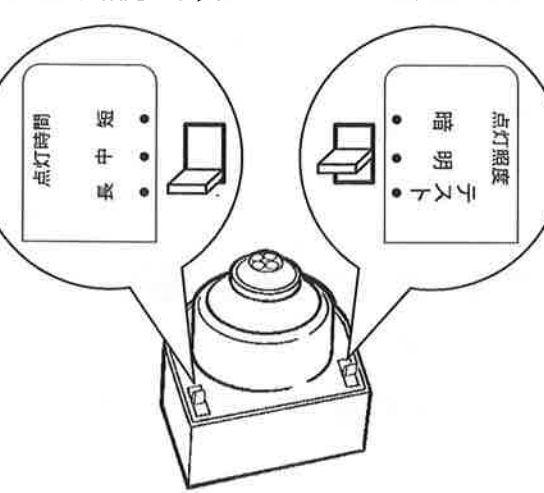
本器具を取り付ける電源回路（壁スイッチ等）に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。
右図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。
（調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。）

《調光器付壁スイッチ代表例》

注意

器具裏面についている黒いスポンジ（3コ）は、取り外さずにご使用ください。

各部の名称

センサーは本体の下部にあります。
機種によってカバー、本体形状が異なる機種もあります。

動作照度を設定する

照度切替スイッチにより、センサーが動作を開始する時の周囲の明るさ(照度)を設定してください。

工場出荷時は「明」に設定されています。

●比較的明るい状態から動作させたい時 ➡ 「明」
周囲の明るさが60Lxより暗くなった時にセンサーが検知動作を開始します。

(照度切替スイッチ位置)

●比較的暗い状態から動作させたい時 ➡ 「暗」
周囲の明るさが20Lxより暗くなった時にセンサーが検知動作を開始します。

(照度切替スイッチ位置)

●センサー感知エリアを設定する時 ➡ 「テスト」
テストモードでは、次のような動作となります。

(照度切替スイッチ位置)

電源投入時・・・約100%点灯
⬇ 約30秒
消灯(待機状態)
⬇ 人が近づくと
周囲の明るさにかかわらず約100%点灯
⬇ 約5秒
消灯(待機状態)

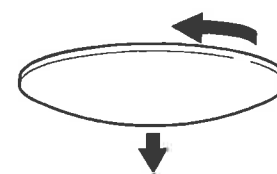
※設定が終了したら、「暗」または「明」に切り替えてください。

テストモードの状態でそのまま使用されますと、ランプの点滅回数が多くなり、ランプの寿命が短かくなる場合があります。

器具のはずしかた

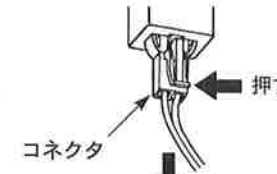
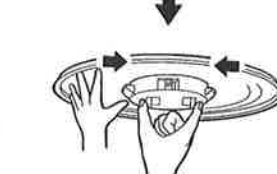
ランプ交換の際は、NEC蛍光ランプ・ホタルックスリムをご指定ください。

必ず電源を切って本体やランプが冷えてから行ってください。

■カバーの外しかた
カバーを左に回してください。

**カバーは無理にはずさないでください。
カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。**

■ランプの取り付け、取りはずし
ランプの口金は、多少動くようになっておりますが無理に回さないでください。
ランプ交換の際は、ランプホルダーで強く弾かないでください。

消灯直後は高温になっていますので注意ください。

■電源の外しかた
右図のようにコネクタの矢印部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。

■本体の外しかた
本体中央部の緑のレバーを矢印方向へ引いてください。

■アダプタの外しかた
アダプタの赤いボタンを押しながら矢印方向に回してください。

注意 ※ボタンを押さずに回すと引掛シーリングが破損します。

スリム形蛍光ランプの特徴

形式:3LK*器具に添付していますスリム形蛍光ランプ(FHC=高周波点灯専用環形蛍光ランプ)は、次のような特徴があります。**

◎FHCは、ガラス管径16㎜スリムで、省資源・省スペースおよび、器具の薄型化を可能にした、長寿命な蛍光ランプです。
◎このランプは、発光効率を向上させるために、片側の電極(ランプマークが表示されていない側)に通常より背の高い特殊な電極を採用しています。このためランプマークが表示されている側より、ランプ点灯時の影で若干暗くなっています。
◎ランプ点灯初期に、明るくなるまで少し時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。約10分程度で明るくなります。

お手入れのしかた

■明るく安全に使用していただくため、定期的(6ヶ月に1回程度)に清掃、点検してください。
■ベンジン、シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。
■器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。
■本体の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水(中性洗剤)を含ませて汚れをふき取ってください。その後、水ぶきして石けん分を取り除いてください。
■照明器具には、寿命があります。一般的な使用状態で、照明器具の交換時期は8年~10年です。

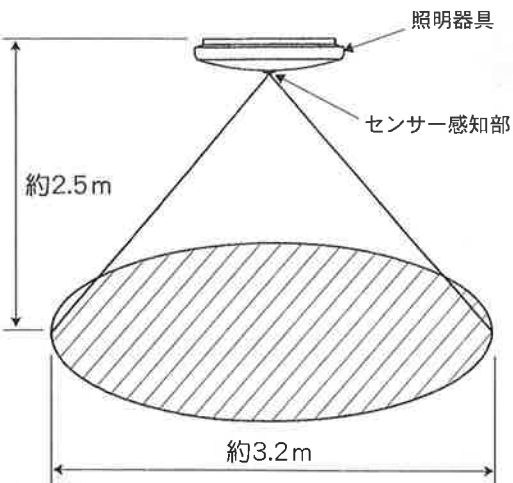
故障のときの処置

ご使用中に異常が生じたときは下表を参考にお調べください。下表以外の故障と思われるときは、電源を切り、お近くのNEC製品取扱店へご相談ください。
なお連絡されるときは器具の形式名およびお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。
形式名は器具本体もしくは取付座の器具ラベルに表示されております。

故障の状態	主な原因	処置
センサーの感知エリアに人がいるのに点灯しない	○センサー部に蒸気などの水滴がついている。 ○センサー部が汚れている。	柔らかい布で傷つかないようにセンサー部の汚れ等をふきとる。
	○壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにする。
	○暑い日など周囲の温度と人の体温の差が小さい。	本センサーは、人の動き等による温度変化を感知し、器具を点灯させますので左記の場合、感知しにくいことがあります。 (故障ではありません。)
	○ランプがソケットに正常に取り付いていない。	ランプを確実に取り付ける。
	○ランプの寿命。	ランプを交換する。
	○周囲が明るい。	照度切替スイッチを"明"にする。

故障の状態	主な原因	処置
感知エリアに人がいないのに点灯する	○感知エリアに人以外の熱源(ガス機器、エアコンなど)がある。	感知エリア内に熱源が入らないような位置に器具を取付ける。
	○強制点灯状態になっている。	壁スイッチをOFFにし、しばらく(5秒以上)してからONにする。
感知エリアに人がいないのに消灯しない	○感知エリアに人以外の熱源(ガス機器、エアコンなど)がある。	感知エリア内に熱源が入らないような位置に器具を取付ける。
	○強制点灯状態になっている。	壁スイッチをOFFにし、しばらく(5秒以上)してからONにする。

センサー感知範囲について

センサーを真下に向けたとき(※)下図の範囲内(目安)で感知します。
※センサー感知部は全方向に約20°動きます。

故障ではありません

注）本センサーは温度変化を感知するため、人体以外の熱源を感知し、動作する場合があります。

注）感知範囲は目安です。下記の様な場合、感知範囲が変化します。
・感知範囲は気温、服装、人の移動速度、進入方向、体温、器具の取付高さ、取付面の傾きなどにより変化します。
・室温が体温に近付いたときは感知しにくい場合があります。

注）下記のような場合、感知することがあります。
・ガス機器、食器洗浄器、食器乾燥器などによる急激な温度変化が感知範囲にある場合。

定　格

形　式	定格電圧	定格周波数	定格消費電力	使用蛍光ランプ	始動方法
20形 (弊社形式：3LKE＊＊＊)	AC100V	50Hz/60Hz	25W	FHC20	インバータ式

点灯順序

■自動で点灯させる場合

本体のセンサー感知部の照度切替スイッチにて設定した明るさで自動で点灯させることができます。
また、人が器具から離れてから消灯するまでの時間を点灯時間設定スイッチにより設定できます。

■強制点灯させる場合

器具を消灯させた状態から壁スイッチを３秒以内にON➡OFF➡ONにすることにより、周囲の明るさ・人体感知の有無にかかわらず、強制的に約100%で点灯させることができます。(※)
※壁スイッチがない場合は、強制点灯に切り替えることができません。

使用上のご注意

この器具は、FHC20専用器具です。従来のFCL30は使用できません。

■壁付調光器のある回路では、使用できません。
照明器具が故障します。

■ランプ交換の際には、必ず指定の蛍光ランプをご使用ください。

■本体を分解したり、改造しないでください。
火災などの原因になります。

■精密機器のため落下などの衝撃を加えないでください。

■冬場など、周辺温度が低いとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。

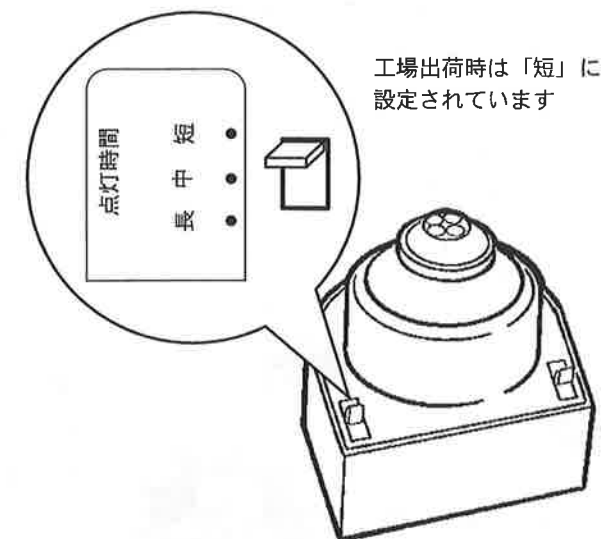
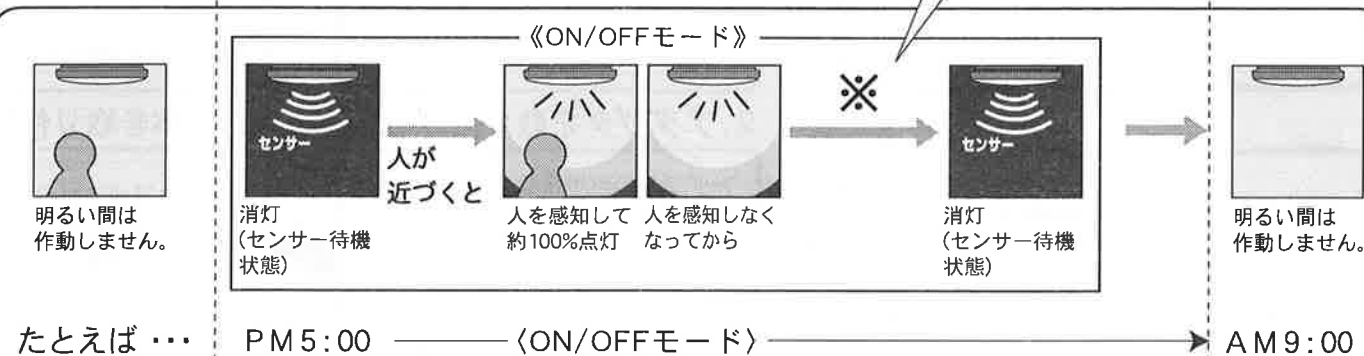
■一時的に電圧降下が発生した場合、ランプが消える場合があります。
一度電源を切って３～５秒後に電源を入れてください。

■点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがあります。

■ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。

■インバータ照明器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。

点灯時間を設定する

点灯時間設定スイッチにより、点灯時間
(短モード：約30秒・中モード：約１分・長モード：約３分)を設定してください。

強制点灯

●器具を消灯させた状態から壁スイッチを３秒以内にON➡OFF➡ONすることにより、周囲の明るさ・人体感知の有無にかかわらず、強制的に約100%で点灯させることができます。(※)
強制点灯に切り替え後、約８時間でもとの動作モードに戻ります。
※ 壁スイッチがない場合は、強制点灯に切り替えることができません。

●もとの動作モードにもどしたい場合は、壁スイッチをOFFにし、５秒以上たってからONにしてください。

●強制点灯を延長したい場合は、壁スイッチをOFFにし、３秒以内にONにしてください。
その時点から約８時間の強制点灯になります。

器具の取付方法

器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行って下さい。

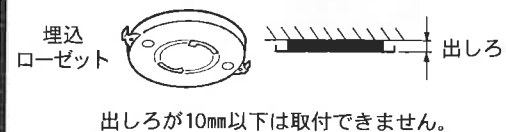
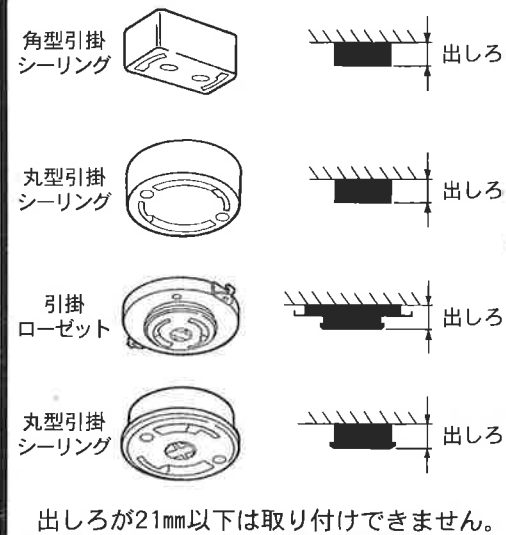
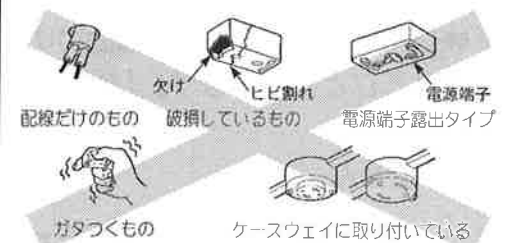
1. 天井の引掛シーリングを確認する

取り付け可能な引掛シーリング

・下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。
（ガタつきや破損がないことを確認して下さい。）

引掛シーリングの形状によって取付方法が異なります。

出しろが21㎜以下は取り付けできません。

出しろが10㎜以下は取付できません。

取り付けできない引掛シーリング

取り付けるする際は、必ず上図の取り付け可能な引掛シーリングに交換して下さい。
交換には電気工事士の資格が必要です。
交換工事は必ず電気工事店に依頼して下さい。

（引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井には取り付けないで下さい。器具が落下する恐れがあります。）

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

⚠警告 落下のおそれあり

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

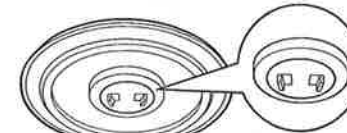
①ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認してください。
不十分な場合、ランプが点灯しない場合がありますので確実に差し込んでください。

②ランプがランプホルダーに確実に取り付けられていることを確認してください。

⚠警告 落下のおそれあり 取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

重要ポイント

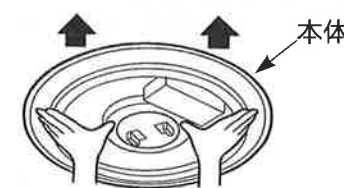
③1段押上げ（仮固定）

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

※本体は仮固定の状態ですので、本体はグラついています。

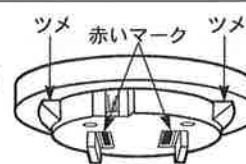
⚠警告 まだ本体の取り付けは不完全です。

この状態のまま使用すると、落下によるけがの原因となります。

④2段押上げ（取付完了）

さらに強く押し上げる。

これで本体の取り付けは完了です。

要チェック

① 本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見え、アダプタのツメ(2ヶ所)が完全に出ていることを確認する。
② 本体のグラつきがないことを確認する。

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

⚠警告 落下のおそれあり

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

①ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認してください。
不十分な場合、ランプが点灯しない場合がありますので確実に差し込んでください。

②ランプがランプホルダーに確実に取り付けられていることを確認してください。

ランプソケット　ランプ　ランプ　ランプホルダー

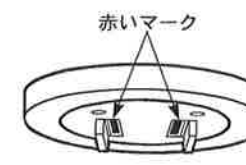
⚠警告 落下のおそれあり 取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

③1段押上げ（取付完了）

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

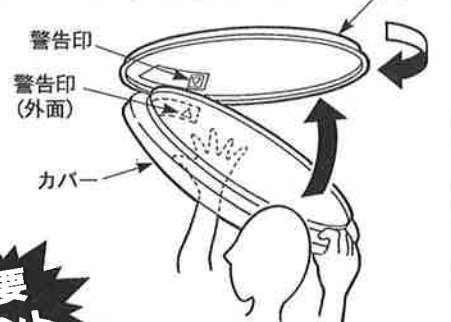
これで本体の取り付けは完了です。

要チェック

① 本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見えていることを確認する。
② 本体のグラつきがないことを確認する。

4. 電源を接続する

アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込んでください。

★の部分を押さえずに、アダプタ側コネクタを引っ張り、コネクタが抜けないことを確認してください。

5. カバーを取り付ける

重要ポイント

本体の警告印(⚠)にカバーの警告印(⚠)を合わせカバーを持ち上げパチンと音がするまでカバーを右にまわしてください。

カバー取り付け時に本体が回転してしまう場合は、本体の取り付け(押し上げ)が不十分です。
「3. 本体を取り付ける」に従って、本体の取り付け(押し上げ)を確認してください。

⚠警告 落下のおそれあり

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

6. センサー感知部を調整する

器具中央部にあります「センサー感知部」をご使用の用途に合わせて向きを調整してください。（センサー感知部は全周約20°動きます。）

〈例〉 器具の真下付近でセンサーを感知させたい場合
センサーの向きを真下に向けてください。

部屋の入口(扉)など特定の場所でセンサーを感知させたい場合
センサーの向きを特定の場所方向に向けてください。

※ 特定の方向にセンサー感知部を向けた場合、センサー感知部を向けていない方向は、感知しなくなります。

※ センサー感知範囲については、6ページを参照ください。